

TTA レポート (NO.92)

発病して早いもので4ヶ月、その間TTAレポートも休ませてもらいました。同じような病気にかからぬよう参考にして下さい。今後は当分の間2ヶ月に1回の発行で勘弁して下さい。

井村孝一 脳梗塞の現状について

1. 発症・入院期間

2012年12月12日発症（長女自宅にて発症し、救急搬送）  
 森山記念病院  
 2012年12月12日～2013年1月7日（ICU14日間・一般病棟12日間）  
 森山リハビリテーション病院  
 2013年1月7日～2013年3月26日退院（一般病棟5日間、1月12日～回復期病棟へ）

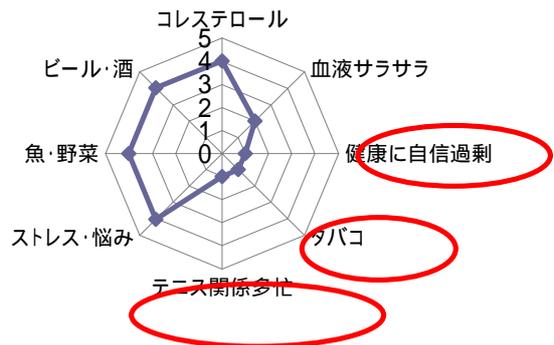
2012年12月の状態（脳梗塞のレベル4～5に該当）

- ・右足不自由、歩き方忘れ、1から・トイレに立ったり、座ったり、要介助
- ・右手不自由、左手にスプーン ・お風呂は、機械浴
- ・トイレでズボンが下ろせない ・万歳で右手が上がらず、グー・チョキ・パーも無理

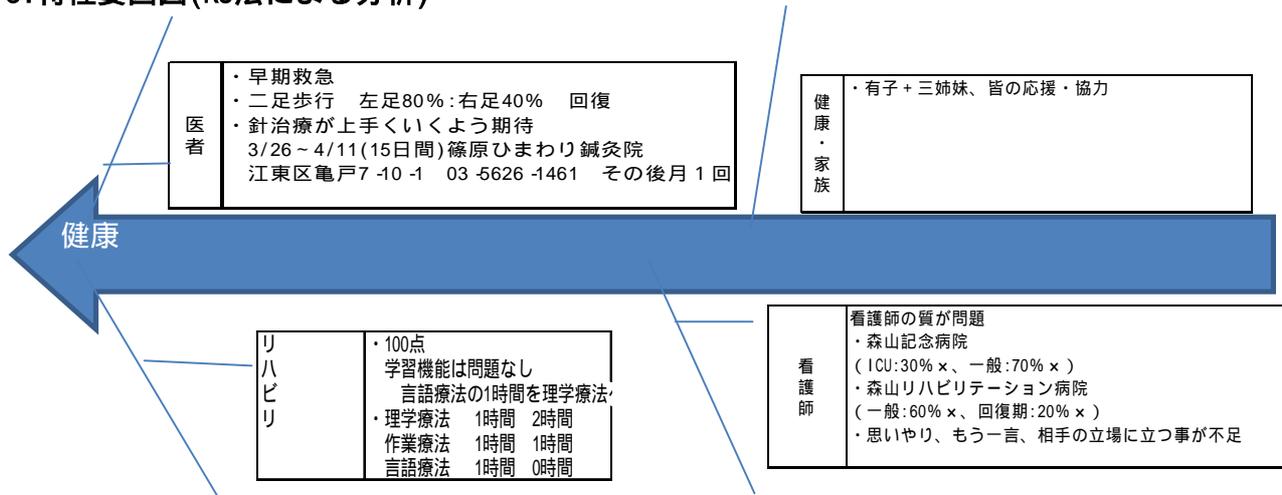
2. 原因分析

発病前のバランス状況

- コレステロール
- 血液サラサラ ... 揚げ物好き
- 健康に自信過剰 ... 今まで大きな病気無
- タバコ ... 長年の喫煙
- テニス関係多忙
- ストレス・悩み
- 魚・野菜
- ビール・酒



3. 特性要因図(KJ法による分析)



4. 最終リハビリ

右足を早く。  
 右手・指は時間が掛かる。  
 西洋学: 点は脳の中にある。  
 現在のリハビリで点 線に。  
 東洋学: 鍼治療。仮死状態の脳細胞を蘇生する。  
 2012年1月24日～最後の回復期リハビリへ  
 油断禁物 / 焦るな / 二足歩行  
 2013年3月の状態  
 ・ステッキでの歩行可能 ・ヨチヨチ歩きだが、二足歩行可能  
 ・2013年3月2日～3日、長女宅へ外泊

自主トレーニング  
 口と舌  
 パタカラ発声  
 美容体操  
 理学療法・作業療法

5. 今後の予定

3月26日(火) 森山リハビリテーション病院退院 4月12日栃木宅リフォーム完 4/12帰栃4/13家族で祝  
 3月26日～4月11日 針治療15回(長女宅から針治療へ)日曜除く毎日計15日+4/22～23、5/16～17、6/24～25  
 5月27日～28日、6月13日～14日(計10回)+7～9月  
 5/1～八洲園で毎週水曜日リハビリ

6. 今後の対応

再発防止、テニスできる体力、健康管理。

以上



13.7.1

栃木県テニス協会 理事長 井村 孝一

『2013年度を迎えてのご挨拶』

未曾有の巨大地震から早や2年経過しますが、一日も早い復旧・復興を心から祈念し、長期に亘る支援を継続したいと思います。私は昨年12/12に脳梗塞(脳幹の左)を発病し、3/26に退院しましたが、5/13に脳幹の右に再発し、言葉と飲みみに若干不自由さがあるが、リハビリと鍼灸(週一回亀戸で)で努力中です。さて、当協会の運営に対し、皆様方のご理解とご協力をいただき誠に有難うございます。心から御礼申し上げます。遅くなりましたが、「12年度の実績と13年度方針」につき記したいと思います。

.....12年度の実績と反省.....

1. TTAの収支面の更なる透明性、健全化及び情報共有の推進

- (1) アベノミクス効果で経済情勢は回復基調ですが、TTAは「収支面の個別分析と共に、経費の節減と効率化及び集中投資を!!」
- (2) TTAの繰越金の予算360K¥に対し626K¥と未達、繰越金累計で売上の17%で20%に持って行きたい。

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
基本強化費	410,000	520,000	470,000	500,000	530,000	530,000
重点強化費	200,000	54,000	300,000	300,000	250,000	200,000
一貫指導	400,000	400,000	450,000	600,000	550,000	550,000
ジュニア育成		400,000	300,000	300,000		
計	1,010,000	1,374,000	1,520,000	1,700,000	1,330,000	1,280,000
県全体補助金	200,000,000	180,000,000	160,000,000	140,000,000	120,000,000	100,000,000

一方、県体協の補助は平成20年度に比し他団体は半減以上だが、TTAは小幅な減だった。

- (3) JTA・KTAとの連携---08年~JTA「テニスの日」にクリーンアップ大作戦

【温暖化防止チーム・マイナス6%運動】エコ活動認定団体表彰(スポレクエコとちぎ2011にて)  
TTAとして、「自分のゴミ+One運動+エコキャップ」を実施します。自分のゴミと周りに落ちているゴミの持ち帰り運動の推進

2. トップ層の更なる引き上げと、ジュニアからベテランに至る一貫した指導体制作り

- 1、参加し易い土壌作りと、緊張感あるエキサイティングな大会作り
- 2、次代を担うキッズ・ジュニア、一般、ベテランに至る発掘・普及活動の推進。
- 3、次代を担う若者に対し、**ワールドワイド**を目指し、一貫した指導システムの確立

2012年 第74回 テイジン全日本ベテランテニス選手権で、40才の部シングルスで、準優勝 佐藤政大(サトウGTC)  
同大会で**70才の部シングルスで、佐藤久和が見事優勝**

3. 会員のための事業運営の日々改善

- (1) 大会参加者の増対策---登録人員増、近県との参加者比較、少子化の中ジュニアの育成
- (2) JTA後援の楽天キッズテニス支援プログラム「PLAY+STAY」のレッド・オレンジ・グリーン ボールからの段階的に積み上げて行く。

.....13年度の事業方針.....

1. TTAの収支面の更なる透明性、健全化及び情報共有の推進

- (1) ホームページの更なる充実。「TTAレポート」は、JTA、KTAの動きと共に、TTAの現状を毎月1回掲載
- (2) 「収支面の実質的分析と共に、経費の節減と効率化!!」---本音で議論、もう一言を大切に(耳は二つ、口は一つ)
- (3) JTA・KTAとの連携---【温暖化防止 チャレンジ25%】【クリーンアップ大作戦】と共に、TTAでは、**「自分のゴミ+One運動+エコキャップ」**を実施中。自分のゴミと周りに落ちているゴミの持ち帰り運動の更なる推進



2. トップ層の更なる引き上げと、ジュニアからベテランに至る一貫した指導体制作り

- (1) 「次代を担うジュニア発掘・普及・育成・強化10ヶ年計画」(07.4.1~実施)の精力的推進---ジュニア委員会の強化(各地区協会のジュニア委員会の育成。民間クラブとの連携、3グループ制の協体制作りと身近な改善に努める。)JTAの「テニス人口等環境実態調査」の活用策の検討
- (2) **選手登録人員増対策**---①魅力ある大会作り ②女子連(520名)との連携 ③実業団の企業登録と個人登録の推進 ④少子化の中、ジュニアの発掘と中体連加盟の促進。中テ連及び高体連の更なる強化

	2013年予	2012年	2011年
男子	2,143	2,121	2,147
女子	1,122	1,119	1,136
計	3,265	3,283	3,283



**10才以下の発掘・普及**を考えた時、ITF公認、JTA後援の楽天キッズテニス支援プログラム「PLAY+STAY」のレッド・オレンジ・グリーンボールからの段階的指導をTTAも積極的に積み上げて行く。

- (3) **08.4.1~JTAのワンコイン制度** 「これからの百年日本のテニスを支えるのはあなたの100円です」 皆様のご協力を!!
- (4) 関東オープンのベテランの部の開催地の近県での持ち回り 11~12年 栃木県で開催 2014(H26)国体開プロ(栃木県)

3. 会員のための事業運営の日々改善

- (1) データベースの確立とOA化の推進。ランキング委員会による間髪入れずの速報体制作り、JOPとの連携
- (2) 参加し易い土壌作りのため、大会実施方法の日々見直しと改善

	2012年度	2013年度	増減
前年度繰越金	5,460,073	4,834,120	-625,953
当該年度残金計	-625,953	-625,290	-264,870
繰越金合計	4,834,120	4,208,830	-890,823

予算達成を!!



	12年度栃木県 秋季S			12年度茨城県 春季S		
	男子	女子	計	男子	女子	計
35才	14	14	17	3	20	
40才	10	16	26	17	6	23
45才	20	12	32	27	7	34
50才	42	6	48	25	6	31
55才	23	3	26	25	3	28
60才	14	3	17	16	4	20
65才	10	4	14	22		22
70才	8		8	14		14
75才	3		3	5		5
計	144	44	188	168	26	194

- (3) 今後とも、会員の方の忌憚のないご意見に基き、改善に努めたいと思います。
- (4) スポレクミックス大会(団体戦)ースポレクエコとちぎ2011ー記念 を2012年以降実施したが見直し要。

2014年ねりんピック---栃木県開催の準備(硬式<栃木市 ソフト<那須塩原>)

以上

13. 09. 01 栃木県テニス協会 理事長 井村孝一

TTA レポート (NO.94)

1、2013年度 会員登録状況-----7/19現在ですが、登録促進をお願いします。

地区協会		2013年度			2012年度			2011年度		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
宇都宮	登録数	523	263	786	542	283	825	559	316	875
	前年比	△ 19	△ 20	△ 39	△ 17	△ 33	△ 50	△ 50	4	△ 46
小山	登録数	210	162	372	391	277	668	400	276	676
	前年比	△ 181	△ 115	△ 296	△ 9	1	△ 8	△ 30	△ 39	△ 69
足利	登録数	303	149	452	313	158	471	314	166	480
	前年比	△ 10	△ 9	△ 19	△ 1	△ 8	△ 9	△ 14	△ 11	△ 25
佐野	登録数	125	63	188	146	68	214	144	69	213
	前年比	△ 21	△ 5	△ 26	2	△ 1	1	3	△ 3	0
栃木	登録数	91	45	136	84	46	130	85	39	124
	前年比	7	△ 1	6	△ 1	7	6	15	2	17
真岡	登録数	190	58	248	198	57	255	196	50	246
	前年比	△ 8	1	△ 7	2	7	9	△ 38	△ 18	△ 56
那須塩原	登録数	96	50	146	73	42	115	73	37	110
	前年比	23	8	31	0	5	5	△ 19	△ 20	△ 39
日光	登録数			0	18	6	24	16	7	23
	前年比	△ 18	△ 6	△ 24	2	△ 1	1	△ 3	0	△ 3
矢板	登録数	35	12	47	29	13	42	25	10	35
	前年比	6	△ 1	5	4	3	7	1	0	1
大田原	登録数	132	115	247	145	117	262	148	117	265
	前年比	△ 13	△ 2	△ 15	△ 3	0	△ 3	△ 11	△ 7	△ 18
鹿沼	登録数	112	30	142	139	34	173	127	30	157
	前年比	△ 27	△ 4	△ 31	12	4	16	△ 17	△ 6	△ 23
下野	登録数	48	14	62	41	17	58	55	23	78
	前年比	7	△ 3	4	△ 14	△ 6	△ 20	△ 15	6	△ 9
個人	登録数	2	2	4	2	1	3	5		5
	前年比	0	1	1	△ 3	1	△ 2	4	0	4
合計	登録数	1,867	963	2,830	2,121	1,119	3,240	2,147	1,140	3,287
	前年比	△ 254	△ 156	△ 410	△ 26	△ 21	△ 47	△ 174	△ 92	△ 266

2、2013年度とちぎオープン参加状況 7/18現在

	2011	2012	2013
18男子	141	92	57
16男子	112	90	71
14男子	138	125	103
12男子	156	138	136
男子計	547	445	367
18女子	104	54	67
16女子	82	83	53
14女子	110	81	81
12女子	125	115	78
女子計	421	333	279
合計	968	778	646

少子化もあるが、地元勢の出場増と大会の魅力作りを！！！！

3、第28回 関東実業団対抗テニスリーグ戦(栃木県で開催) 9/6~8

4、52回関東実業団対抗テニストーナメント 平成25年7月13日(土)・14日(日)・会場 神栖海浜運動公園テニスコート  
男子は、キャンが8位、足利銀行が15位でした。女子は本田技術研究所が4位と健闘し、5位までに入り全国大会に出場。

5、TTAとして留意点

- (1)7月27日(土)午後6時から、某地区協会の臨時総会が行われました。幹部5名、が辞職し、理由は領収書の改ざん、公金不正使用、その他ありますが、以上述べた2点が主な理由です。いつも言ってる通り、透明性と情報共有に努力下さい。
- (2)公益財団法人 日本体育協会より公益法人の自己規律についての通知が届き、また内閣府より全柔連に自己規律確保を呼びかける声明が発表されました。また透明性の高い組織運営の確立と共に、JTAの張会長のお言葉にあるテニス界の果たすべき社会的使命について更に認識を深めていただきますようお願い申し上げます。
- (3)連日、最高気温の報道と共に熱中症患者の報道なされていますが、日本体育協会より注意喚起の書類が届きましたし、また文部科学省とJTA危機管理・倫理委員会からの書類には熱中症に加え、落雷事故も追記されておりますので、是非とも注意下さい。
- (4)JTAとしてJPINの推進も早めてまいります。JPINはインターネットによる個人登録のことであり、C60まず始めに一般選手から手がけてまいります。これが稼動いたしますと個人登録、大会へのエントリー、ドローの作成等が簡略化されてスピーディーな対応ができ、ランキングも毎週発表することが可能になります。
- (5)KTA7/29(月)常務理事会 関東オープンの反省(日程とルール改正、JTAとの関連)、8/8にKTAベテラン委員会。都市対抗は来年7枠、山形依頼。次回9/10

以上

TTA レポート (NO.95)

1、第28回 関東実業団対抗テニスリーグ戦(栃木県で開催) 9/6~8

雨天の中熱戦が繰り広げられた。男子は三菱商事が優勝。女子はウィンザーが優勝。

順位	チーム名	対戦相手	スコア	対戦相手	スコア
1	三菱商事	東京アロマ	3-0	三菱商事	2-0
2	三菱商事	東京アロマ	3-0	三菱商事	2-0
3	三菱商事	東京アロマ	3-0	三菱商事	2-0
4	三菱商事	東京アロマ	3-0	三菱商事	2-0

順位	チーム名	対戦相手	スコア	対戦相手	スコア
1	三菱商事	東京アロマ	3-0	三菱商事	2-0
2	三菱商事	東京アロマ	3-0	三菱商事	2-0
3	三菱商事	東京アロマ	3-0	三菱商事	2-0
4	三菱商事	東京アロマ	3-0	三菱商事	2-0

**2020年 オリンピック・パラリンピック**  
**東京 に決定** アベニミクス効果が  
 3本の矢 金融緩和 財政出動 成長戦略  
 第4の矢 東京五輪

歴史的発表の日に決勝他 !!

2、東京国体

男女上位2名の選手は9月29日~10月2日東京世田谷区立総合運動場、大蔵第二運動場、及び都立駒沢オリンピック公園で行われる本大会に出場

大橋 可宏(法政大学 3年)	成年	1回戦は、栃木 北海道で、Sは1-1、Dにかかり、9-8の8-6で勝ち。
鈴木 佳太(法政大学 4年)	男子	2回戦は東京都と対戦、0-2で敗れた。
上吉原 あい(川村学園女子大学4年)	成年	1回戦は同じ関東の千葉県と対戦、0-2で頑張ったが負け
阿部 美貴(上武大学 4年)	女子	
水淵 功誠 (足工大高・高)	少年	1回戦は、栃木 福井県で、Sは1-1、Dにかかり、7-9で惜敗。
和田 隼友 (足工大高・高)	男子	
佐々木 遥 (作新高・高)	少年	2回戦からで、秋田県に2-0で勝った。3回戦は、岐阜県と対戦し
加藤 美怜 (海星女高・高)	女子	0-2で残念ながら敗れた。

3、委員会・理事会での事項

3、1 各委員会の決算の要望

- 各委員会の中で、分担と相互チェック出来るよう委員長と経理の担当と別に設けること。
- 領収書の内容と公式領収書を添付のこと。個人領収書の頻発は不可。各人の領収サインを添付
- 出張命令書の副委員長や理事長印による相関チェック、架空出張の防止。
- TTAでも以前あり、佐野でも先般あったが、7月27日(土)午後6時から、佐野テニス協会の臨時総会が犬伏会館で行われました。幹部5名、が辞職し、理由は領収書の改ざん、公金不正使用、その他ありますが、以上述べた2点が主な理由 いつも言ってる通り、透明性と情報共有に努力下さい。
- 2013年度決算で予算を守るのは勿論、それ以上に余剰金を出すよう努力下さい。
- 特にベテラン委員会だが、参加人員まとめ(藤本へ、2,000円)RU纏め(佐藤へ2,000円)支給のこと。

3、2 P&Sの普及費用をJTAからKTAへ4500K¥支給。TTA及び各地区協会も活用を!!!

宇都宮市(又は鹿沼市)テニスコート又は体育館で、小学校1年生~4年生 初心者・初級者対象に参加費 500円(保険料:KTAからの申請額 15万円を活用する。

3、3 ジュニア強化・育成計画の見直し 2015.4.1実施目標

2020年東京五輪 2024年栃木とちまる国体を目指し、トップ層の更なる引き上げと07.4.1~実施「次代を担うジュニア発掘・普及・育成・強化10ヶ年計画」の推進を見直す要有り。ジュニアの強化育成計画 現ワンコイン含む、500円のワンコインかなと思う、参加し易い土壌作りも要、その400円 をジュニア育成基金とし、これから1年かけて議論し、栃木のジュニアの100年の計の礎を築きたい。詳細は森田案で議論。

3、4 ブラインドテニス(視覚ハンディキャップテニスより名称を変更)は、視覚障害者が発案した日本生まれのスポーツで、

2011/1から女子連中心に協力、TTAとしての社会的役割を考えれば納得のいく事業、来年

以上

TTA レポート (NO.96)

謹賀新年 1年の年月は早いものです。次代をジュニアのため更なる飛躍と年となるよう皆様と共に頑張りたいと思います、ご協力をお願い致します。

1、県体協主催 H25年度競技力向上研修会 11/12(火)13:30~16:20 県総合教育センター

1、1 スポーツジャーナリスト 二宮清純 「勝者の思考法」

(1) 見つけよう 育てよう 強くなろう スポーツの力で、とちぎに元気を！

(2) 1964年65才以上6%が、2020年には30%にもなる。ロンドン障害者にやさしいパラリンピック バリアフリー

(3) 準備力 川淵キャプテンスポーツで地域振興

(4) リーダー パッション 実行力 プレない 机上の空論より、地上の正論

ミッション 使命感 心のインフラ作り

アクション 行動力

(5) イタリア 美しい背中 苦しい時に私の背中を見ろ！

1、2 作新学院大学 笠原彰 「現場で使える競技力向上のためのメンタルサポート」

(1) 自然にできるよう習慣化 準備と行動

(2) フローの条件 プラン作成 プラス思考 プラ管理 覚醒水準 良いスタート 集中力 環境・雰囲気・ベップトーク チームワーク

(3) チャレンジスキル 具体的行動目標

2、ジュニア強化・育成基金の創設案

2015. 4. 1 実施目標

(各地区協会費には差があります)

栃木県次代を担うジュニアの育成・強化基金の創設案

テニス愛好者の皆様のご賛同を得て、次代を担うジュニアのた基金を創設したい。

1、目的

07.4.1~「次代を担うジュニア発掘・普及・育成・強化10ヶ年計画」の推進してきたが、更なる強化を目指し、当面2020年東京五輪 2024年栃木とちまる国体を目指し、将来ともジュニア育成基金とし、栃木のジュニアの100年の計の礎を築きたい。

- 1、参加し易い土壌作りと、緊張感あるエキサイティングな大会作り
- 2、次代を担うキッズ・ジュニア、一般、ベテランに至る発掘・普及活動の推進。
- 3、次代を担う若者に対し、**ワールドワイド**を目指し、一貫した指導システムの確立

2、徴収方法

10/20の理事会の議論踏まえ、広く各地区テニス協会及び栃木県テニス協会に登録した人から基金に**300円/人・年**を徴収したい。

現行	改訂後(2014. 4. 1以降)
各地区テニス協会(400円)及び栃木県テニス協会(600円)で計1,000円の登録料	各地区テニス協会(400円)及び栃木県テニス協会(600円)で計1,000円の登録料+県にジュニア育成基金 300円 で、 <b>基金含め、1,300円/人・年</b>

(1) 登録3,000人\*300円=900K円 及びTTAジュニア委員会の内繰越金の半額400K円=1,300K円 で推進したい。

(2) 今後ともテニス人口の増に努力し、参加し易い土壌作りと、緊張感あるエキサイティングな大会作りに努める必要がある。

(3) 各地区協会分には、各市にて若干の差があるので注意要。

3、ブライントテニス(視覚ハンディキャップテニスより名称を変更)は、視覚障害者が発案した日本生まれの

スポーツで、2011/1から女子連中心に協力、TTAとしての社会的役割からも来年も協力要。オリンピックとパラリンピックが同時開催されることを健常者は理解のこと。障害者スポーツに積極的に理解のこと。

4、TTAの当面の日程

1) オリンピックの2年後、2022年に栃木国体を実施、12/13に会場予定地の各競技団体の要望を県に提出。

栃木県として金が無いのは一理あるが、各都道府県から皆様を迎えるにあたり、栃木は立派な設備を有し、気持ちよくプレーできたと言われるよう、テニスも整備のこと。

昭和55年(1980年)の第35回国体(栃の葉国体)から42年ぶりとなります。今後は、大会の成功に向けて開催の準備を進めていくとともに、県民からの要望を提出。

2) 12/22 ソフトテニス連盟と、2014年度のコート調整会議を実施。

3) 1/末~2/中にかけて、各市のコートの調整会議。

以上



2014.3.10

栃木県テニス協会 理事長 井村 孝一

『2014年度を迎えてのご挨拶』

未曾有の巨大地震から早や3年経過しますが、一日も早い復旧・復興を心から祈念し、長期に亘る支援を継続したいと思います。2007年より「次代を担うジュニア発掘・普及・強化10ヶ年計画」を推進してきたが、更なる強化を目指し、2020年東京オリンピック、2024年の栃木とちまる国体での活躍を期したい。さて、当協会の運営に対し、皆様方のご理解とご協力をいただき誠に有難うございます。心から御礼申し上げます。遅くなりましたが、「13年度の実績と14年度方針」につき記したいと思います。

.....2013年度の実績と反省.....

1、TTAの収支面の更なる透明性、健全化及び情報共有の推進

- (1) アベノミクス効果で経済情勢は回復基調ですが、TTAは「経費の節減と効率化及び集中投資を!!」
- (2) TTAの繰越金累計で売上の現17%を20%まで持って行きたい。
- (3) JTA・KTAとの連携---08年~JTA「テニスの日」にクリーンアップ大作戦  
+One運動(自分のゴミ+周りのゴミ一つ持ち帰り運動)の推進---
- (4) 日本ブライントテニス連盟関東地区協議会第3回大会の1/25・26のバックアップ

	2013秋季S栃木県			2013秋季S茨城県		
	男子	女子	計	男子	女子	計
35才	9		9	17	3	20
40才	10	7	17	17	6	23
45才	16	7	23	27	7	34
50才	48	6	54	25	6	31
55才	19	4	23	25	3	28
60才	21	4	25	16	4	20
65才	8		8	22		22
70才	10		10	14		14
75才			0	5		5
計	141	28	169	168	29	197

2、トップ層の更なる引き上げと、ジュニアからベテランに至る一貫した指導体制作り

- 1、参加しやすい土壌作りと、緊張感あるエキサイティングな大会作り
- 2、次代を担うキッズ・ジュニア、一般、ベテランに至る発掘・普及活動の推進。
- 3、次代を担う若者に対し、**ワールドワイド**を目指し、一貫した指導システムの確立

2013年 第75回 テイジン全日本ベテランテニス選手権で、40才の部単複で、優勝の快挙 佐藤政大(サトウGTC)

ジュニアの実績  
 ・北九州インターハイ シングルス ベスト16 男子 油布将也(卒業) ベスト16 佐々木遥 (高1)  
 ・全日本ジュニア 16歳以下女子 佐々木遥 14歳以下男子 相原一樹 女子 諏訪円香  
 ・全国中学生大会 金森拓仁 男子として11年ぶりに全国出場

・11才以下ジュニア体力測定会(第7回11歳以下男女強化推進指定選手選考会兼)開催日:平成26年1月13日(祝)

栃木から錦織2世を輩出したいが、戦績は今一つ伸び悩み少子化の影響もあるか

3、会員のための事業運営の日々改善

- (1) 大会参加者の増対策---登録人員増、近県との参加者比較、少子化の中ジュニアの育成
- (2) JTA後援の楽天キッズテニス支援プログラム「PLAY+STAY」のレッド・オレンジ・グリーン ボールからの段階的に積み上げて行く。

.....2014年度の事業方針.....

1、TTAの収支面の更なる透明性、健全化及び情報共有の推進

- (1) ホームページの更なる充実。「TTAレポート」は、JTA、KTAの動きと共に、TTAの現状を2ヶ月1回掲載
- (2) 「収支面の実質的分析と共に、経費の節減と効率化!!」---本音で議論、もう一言を大切に(耳は二つ、口は一つ)
- (3) JTA・KTAとの連携---【温暖化防止 チャレンジ25%】【クリーンアップ大作戦】と共に、TTAでは、



【温暖化防止チーム・マイナス6%運動】 **エコ活動認定団体表彰**(スポレクエコとちぎ2011にて)

TTAとして、「自分のゴミ+One運動+エコキャップ」を実施します。自分のゴミと周りに落ちているゴミの持ち帰り運動の推進

2、ジュニア基金の創設と一貫した指導体制作り

各地区意見と 3/9 委員長会議踏まえ、本来は理事長会議で議論し方向付けしたら一番いいが時間的にも厳しく会則踏まえ、**井村にて見解**を纏めたいと思う。

1、去年10月議論し概略の方向付けに従い、不備な点をメールで質疑応答をしHPにも公表した(HPを見ましたか)。この時に12月を期限とし、理事会を開催すべきだったと反省しています。それまでの建設的議論から結論を煮詰めるべきだったと思います。

2、その反省、一応の論踏まえ、**2015年4月1日(予定)創設目途に進めたいが**、についてはプロジェクトを新設し、関係者で議論したい。

- ① プロジェクト名 ジュニア基金
- ② 期間 2014. 4~7 プロジェクト中で大いに議論し、8月にTTA委員長会議と理事会で承認としたい。
- ③ メンバー リーダー 柚木副理事長 事務局長 森田ジュニア委員長  
各地区協会の ジュニア担当責任者+その他必要な関係者

- (1) 「次代を担うジュニア発掘・普及・育成・強化10ヶ年計画」(07.4.1~実施)の精力的推進---ジュニア委員会の強化(各地区協会のジュニア委員会の育成。民間クラブとの連携。3グループ制の協力的体制作りと身近な改善に努める。)JTAの「テニス人口等環境実態調査」の活用策の検討
- (2) **選手登録人員増対策**---①魅力ある大会作り ②女子連(520名)との連携 ③実業団の企業登録と個人登録の推進 ④少子化の中、ジュニアの発掘と中体連加盟の促進、中テ連及び高体連の更なる強化

**10才以下の発掘・普及**を考えた時、ITF公認、JTA後援の楽天キッズテニス支援プログラム「PLAY+STAY」のJTAもバックアップし、レッド・オレンジ・グリーンボールからの段階的指導をTTAも積極的に積み上げて行く。

3、会員のための事業運営の日々改善

- (1) データベースの確立とOA化の推進。ランキング委員会による問髪入れずの速報体制作り、JOI
- (2) 参加しやすい土壌作りのため、大会実施方法の日々見直しと改善
- (3) 今後とも、会員の方の忌憚のないご意見に基き、改善に努めたいと思います。
- (4) 2014年ねりんピック---栃木県開催の準備(硬式<栃木市 ソフト<那須塩原>)
- (5) 日本ブライントテニス連盟関東地区協議会第4回のバックアップ



以上